



Utako Toyama (大阪出身)

数々の作曲賞を受賞したスカイブリッジの創設者、Songs for World Peaceの共同創設者。

奨学金を受賞しバークリー音楽院へ入学。現代音楽作曲プロダクション専攻から成績優秀者として卒業。入学直後に、バークリーパフォームセンター(BPC)で行われた9.11のメモリアルコンサートでオリジナル曲、”

No Rain No Rainbow”を演奏する。音楽を通じ、世界中のミュージシャンと友達になることで、音楽と人間の普遍性、また多様性を実感。”We look different, we ALL smile the same (見た目は異なれど笑うのはみ～んな一緒)”というスローガンのもと、プロジェクトバンド、SkyBridgeを始める。大学でマーティンルーサーキング芸術賞を受賞。卒業後、米国でアーティストビザを取得。世界コンテストである、ジョンレノン作曲コンテストで日本人初、唯一の複数回ファイナリスト受賞、SongStarやRAWA Songs for Social Changeなどの作曲コンテストで入賞を果たす。BPCでの女性音楽家ネットワークコンサートに、特別卒業生ゲストとして出演し、ボストン総領事公邸、ボストン日本フェスティバル、ハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、Massachusetts Peace Actionのカンファレンスなどで演奏。

2019年、英国卓越才能ビザを取得し、英国ロンドンに移住。2020年コロナ禍に、世界各国の音楽家がそれぞれの母国語で世界平和の歌を書き、オンラインで発表するグローバルイニシアチブ、Songs for World Peace(SWP)を共同創設、現在までに80カ国を超えるアーティストが平和の曲をリリースする。UN Women SFチャプター主催の映画祭、Global Voices Film Festivalとコラボレーションし、映画祭では自身作曲のWe Declare Peaceが流される。

2022年平和活動が評価され、日本総務省、外務省、広島県などが後援につく、ひろしま国際平和文化祭でひろしまアワードを海外音楽部門で受賞。

リーダーシップと作曲の才能を活かし、音楽を通じ、多様性・公平性・世界平和のメッセージを促進することが目標。

米国、日本、ケニア、ウガンダ、クロアチアなどで活動し、Mark WalkerやVictor Wootenなどグラミー賞受賞者を含む47カ国以上の音楽家とスカイブリッジとして共演し、SWPと合わせて合計100カ国以上の音楽家を率いる活動をしている。現在は、オンライングローバルクワイヤの可能性を追求しつつ、SkyBridgeのツアーに向けたアルバム制作、SWPの世界平和の曲のリリース活動、Utako Toyamaとして、世界中の歌手をフィーチャーしたシンガーソングライターアルバムを制作中。



BPCでのトリの演奏 Mark Walker(左)とのレコーディング



ボストン日本祭り ボストングリーンフェス



ケニアでグラミー賞受賞ベーシスト、Victor Wootenとの共演